



# 防災あいずみ

令和7年4月15日発行 第48号

発行元：藍住町総務課危機管理室

電話637-3111

## 大地震に備えよう！

過去に発生した大地震では、多くの古い木造住宅が倒壊等の被害を受けました。また、地震に起因する電気火災や家具等の転倒による被害も報告されており、命を守る備えとして、お住いの耐震化はもちろん、火災の予防や家具等を固定するなどの安全対策も大切です。

町では、木造住宅の耐震化や、感震ブレーカー、家具転倒防止器具等の取付けに対する支援を行っています。大地震に備えるために、ぜひご活用ください。

申請方法等については町ホームページをご確認ください。

### 1 木造住宅耐震化事業

(HP: <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900037/>)



#### (1) 耐震診断 大規模な地震に対し、どの程度の安全性があるかを判定

##### ① 対応住宅

- ・ 木造(在来軸組構法、伝統構法、枠組壁工法等)
- ・ 平成12年5月31日以前に着工
- ・ 3階建て以下の住宅(併用住宅、共同住宅、長屋、借家、空き家を含む)

##### ② 費用

**自己負担 3千円**

#### (2) 耐震改修 本格的な耐震改修工事

##### ① 対応住宅

- ・ 耐震診断で、評点1.0未満と判定された木造住宅
- ・ 過去に耐震化事業に関する補助金の交付を受けていない

##### ② 要件

- ・ 県登録の施工者等が施工し、評点を1.0以上とする工事
- ・ 家具の固定及び分電盤タイプの感震ブレーカー設置
- ・ 普及啓発活動やエシカル消費への取組に協力
- ・ 令和8年2月28日までに竣工

##### ③ 補助上限額

**200万円(補助率4/5)**

+

**10万円(感震ブレーカー設置)**



#### (3) 耐震シェルター設置

住宅が倒壊しても一部の空間は確保

##### ① 要件

- ・ 耐震診断で、評点1.0未満と判定された木造住宅
- ・ 現在居住している住宅
- ・ 過去に耐震化事業に関する補助金の交付を受けていない

##### ② 必須事項

- ・ 徳島県が認定している耐震シェルター設置及び家具の固定
- ・ 県登録の施工者等が施工
- ・ 普及啓発活動やエシカル消費への取組に協力
- ・ 令和8年2月28日までに竣工 **※感震ブレーカー設置は任意**

③ 補助上限額 **80万円(補助率4/5)+10万円(感震ブレーカー設置)**

#### (4) 住替え支援

住替えや建替えに伴い古い住宅を除去

##### ① 要件

- ・ 耐震診断で、評点0.7未満と判定された木造住宅
- ・ 昭和56年5月31日以前に着工
- ・ 現在居住している住宅
- ・ 過去に耐震化事業に関する補助金の交付を受けていない

##### ② 必須事項

- ・ 住宅の全てを除却
- ・ 解体業者が施工
- ・ 令和8年2月28日までに竣工

③ 補助上限額 **30万円(補助率2/5)**

※受付は先着順です。

※予算がなくなり次第、受付終了します。

## 2 感震ブレーカー取付支援事業



(HP: <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900051/>)

感震ブレーカーとは、大地震(震度5強以上)発生時に揺れを感知し、住宅内の電気を遮断することで電気起因する出火を防止するための装置です。

①対象者 次の全てに該当する方(世帯主に限る)

- ・藍住町に住所を有し、かつ、居住し、町税等の滞納がない方
- ・過去に感震ブレーカーの取付けに関する補助金の交付を受けていない方

②対象費用

- ・既存住宅において実施する感震ブレーカーの購入及び取付工事費用
- ・新築住宅の建築に併せて実施する感震ブレーカーの購入及び取付工事費用

③対象機器 **【分電盤タイプ】**

一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤(JWDS0007付2)の規格で定める構造及び機能を有する内蔵型又は後付型もの。

**【簡易タイプ、コンセントタイプ】**

一般社団法人日本消防設備安全センターによる消防防災製品等推奨証の交付を受けている簡易タイプ又はコンセントタイプのもの。

④補助金額 **上限1万5千円(補助率1/2)**

### 【補助対象感震ブレーカーの例】

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(後付型)	簡易タイプ	コンセントタイプ
型番:HCD-MG	型番:NFK-1N	スイッチ断ボールⅢ A001J	coco断 SND250GE
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤本体と接続することで感震機能付分電盤として使用できる。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。	壁コンセントに設置し、揺れを感知すると接続された電子機器への通電を遮断する。

## 3 家具転倒防止器具等取付支援事業



(HP: <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2024032900075/>)

家具転倒防止器具とは、地震が起きても家具等が倒れにくくなるよう、家具等と天井又は壁を固定する金具等の器具です。地震対策に最も安価で効果が大きいとされています。

①対象者 次の全てに該当する方(世帯主に限る)

- ・藍住町に住所を有し、かつ、居住し、町税等の滞納がない方
- ・過去に家具転倒防止器具等の取付けに関する補助金の交付を受けていない方

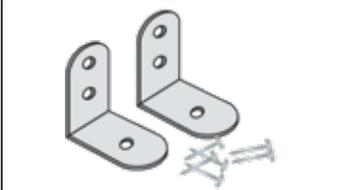
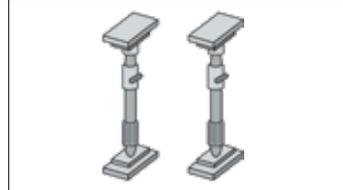
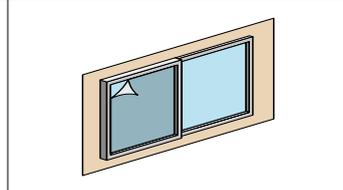
②対象費用

- ・家具転倒防止器具やガラス飛散防止フィルム等の購入及び取付費用の補助
- ※取付費用の補助については、町指定の業者が施工した場合に限ります

③補助金額 **上限1万5千円(補助率1/2)**

### 【家具転倒防止器具等の例】



L字金具	粘着マット式	ポール式	ガラス飛散防止フィルム
			
家具と壁を木ネジやボルトによって固定するタイプ	粘着性のゲル状のもので、家具の底面と床面を接着させるタイプ	壁などにネジ固定せず、家具と天井のすき間に設置する棒状のタイプ	ガラスが割れた際に破片の飛び散りを防止するフィルム

## 電気自動車を導入しました

災害時の電源確保や脱炭素化社会の推進を目的に、電気自動車を公用車として導入しました。電気自動車は電池容量が大きく、騒音や排気ガスを発生させずに長時間の使用が可能であり、災害時には必要な場所まで自走して電力供給を行うことができます。

今後は、公用車として通常業務で運用し、災害時には「移動式電源」として電気を提供する、フェーズフリーな運用を進めていきます。



導入した電気自動車(三菱ミニキャブEV)

## 国民保護共同訓練

2月4日、国及び県と共同で国民保護共同訓練を実施しました。この訓練は、ミサイル攻撃やテロ等の武力攻撃事態等が発生した際に、住民の命や財産を保護するため、避難・救援・武力攻撃災害への初動対応方法の確認や関連機関との連携強化を目的に行いました。

訓練は、ゆめタウン徳島内で化学剤散布事案の発生を想定した「第1事案」と、東中学校での爆発物設置事案を想定した「第2事案」の2部構成で実施されました。

第1事案では、対策本部の設置から施設内の避難誘導や救出救助、トリアージなどを実施し、第2事案では東中学校周辺地区の住民による避難訓練及び、避難所開設・運営訓練等を実施しました。今回の訓練で、職員の知識と理解醸成のほか、関連機関との関係を深めることができ、また参加された住民の皆さんにとっては、国民保護だけでなく防災全般への関心を高める契機になったと考えています。



## 過去の経験から学ぶ



地域防災に取り組んでいる自主防災組織の代表者を対象に防災講演を開催しました。

この防災講演は、発生が懸念されている大規模災害に備えるため、講師に熊本市黒髪校区第4町内自治会長の小野寺 武治 様、同町内会自主防災クラブ代表者の兼弘 誠 様をお招きし、熊本地震での体験談をもとに、災害時における自主防災組織の役割等について講演していただきました。講演では、熊本地震の被災経験から気づいた避難所運営や、災害に備える方法等について学ぶことができ、参加した皆さんの災害に関する知識や、災害時における自主防災活動への理解を深めることができたと考えています。

## 令和6年度未来を守る防災活動賞(県知事表彰)受賞

### 受賞おめでとうございます。



新居須自主防災組織 徳原会長(右)

この表彰は、防災活動の顕著な取組により、地域の防災・減災対策の推進に大きく貢献した団体等に対して行われるものです。

本町では、新居須自主防災組織が受賞されました。新居須自主防災組織は、令和元年に結成した自主防災組織で、現在は72世帯と地域内の多くの方が加入し活動しています。

平時から巨大地震や水害等の多様な自然災害に備えるとともに、地域防災力の向上に貢献していることや防災意識の普及啓発を目的として自主防災活動を行っていることなどが、高く評価されました。

### 地域の安心・安全のために



名田団地自衛消防隊訓練風景

地域の皆さんで自主的に防災活動を行う組織「自主防災組織」。そこでは災害時に地域や近隣の方が互いに協力し合うことができるように防災出前講座や防災訓練などを実施しています。普段行っている自主防災組織活動の一例を紹介します。

町では地域防災力を高めるため、自主防災組織の活動をさまざまな形で支援しています。詳細については、総務課危機管理室までお問い合わせください。

### 令和6年度の活動状況

活動月	活動内容	組織名
5月	防災出前講座 (防災対策について)	安任自主防災隊
	防災出前講座 (平常時の活動について)	宮内自主防災団
	地域防災訓練 (初期消火・資器材取扱い)	成瀬南団地自主防災隊
	地域防災訓練 (資器材取扱い)	名田団地自衛消防隊
	地域防災訓練 (炊出し)	新居須自主防災組織
8月	普通救命入門コース受講	陽光台自主防災隊
	防災出前講座 (防災対策について)	徳命東・西自治会自主防災会
10月	地域防災訓練 (資器材取扱い)	徳命東・西自治会自主防災会
11月	防災出前講座 (地震災害への備えについて)	中田団地自主防災会
12月	地域防災訓練 (初期消火・資器材取扱い)	すみよし団地自主防災隊
	地域防災訓練 (初期消火・防災講座)	宮内自主防災団
1月	地域防災訓練 (資器材取扱い・消火栓点検)	西前川自衛消防隊